

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科		
科目名称 [英語名称]	博物館実習 [Practical Training in Museology]			実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○	
科目コード	283900	授業形態	講義	単位数	3	配当学年	3-4年次
教員氏名	中野 光謙			学位授与の方針 との関連	DP3(3)		
授業概要	<p>本実習の目的は、博物館の業務を行うために必要な技能を習得することです。 実習は原則として4年次の夏休みの間に、宮崎県内の博物館か出身地の博物館で行います(事前指導は3年次に始まるが、3年次は実習を行う博物館を捜し、博物館が決まったらその博物館の業務内容などを勉強することに費やす)。実習を受ける学生は、博物館実習の申し込みは一般に3年次終了時か4年次の初めに行うので、それまでに学芸員の資格取得に必要とされる他の科目の単位をすべて取得しておく必要があります。</p>						
関連する科目	学芸員関連科目						
授業の進め方と方法	事前指導において概要説明等を行い、各自交渉し実習を行う博物館を決めた後、その博物館で実習を行います。その後、事後指導として実習概要・内容・後輩へのアドバイスをとりまとめた発表会を行います。						
授業計画	<p><Ⅰ. 事前指導> 第1回 博物館の見学、実習先の博物館の概要と業務内容の調査、実習内容についての事前学習。 第2回 博物館実習の心得と実習日誌の書き方についての事前学習。</p> <p><Ⅱ. 博物館での実習> 第3回 博物館業務についての全般的実習 第4回 資料の梱包および荷解き等の資料の取り扱いについて 第5回 動植物標本の作製法 第6回 地質標本の作製法 第7回 歴史、考古、民俗資料の取り扱い 第8回 資料の整理、分類、保存の方法 第9回 展示企画準備と展示事業におけるジオラマ、レプリカ、模型などの取り扱い 第10回 利用者アンケート調査の方法 第11回 パンフレットの作成や刊行物編集の方法 第12回 施設の美化・清掃などの実践</p> <p><Ⅲ. 事後指導> 第13回 実習日誌を提出し、事後指導の一環としてその内容を検討しあう。 第14回 実習体験を反省し、博物館の業務についての理解と認識をさらに深める。 第15回 来年度の受講者に対して各自の実習体験を発表し、博物館実習を総括する。</p>						
授業の到達目標	<p>1. 博物館において実際に諸業務を実践することによって、博物館の業務内容についての実践的な知識を習得し、収蔵品や展示物などを扱うための方法や技術を学びます。【知識・理解の獲得、汎用的技能の育成】 2. 学芸員養成課程の総括として、博物館実習を通して実践的な知識を習得します。【統合的な学習経験と創造的思考力の養成】</p>						
授業時間外の学修	実習期間中は学んだことをその日のうちに復習し、次の実習日にそなえてください。						
課題に対する フィードバック	希望者に対しては、実習先博物館から送付されてきた指導学芸員の評価表を開示します。	評価方法	事前指導の際に提出するレポート、博物館での実習において作成した実習日誌、実習を指導していただいた学芸員の評価、事後指導において提出するレポート、これらを総合して評価します。				
テキスト	なし						
参考書	必要に応じて指定します。						
備考							